



暮らして生きる水

水の恵みとわたしたち

わたしたちの暮らして産業になくはならない水。しかし、かつてはいつも十分な水があったわけではありませんでした。水の恵みを求めた人々の心は、今もさまざまな祭りに受け継がれています。

雨ごいの祈りをいめて おはな踊り

8月21日 滋賀県甲良町北落ノ日吉神社

「雨をたまわる そのうれしさに 竜王さまへとかけ踊り」

胸に太鼓を抱え、謡に合わせて人々が踊る北落の「おはな踊り」には、水不足のため作物ができずに困ってきた人々の祈りがこめられています。

由来は、不治の病をわずらった、おはなという女の人が池に飛び込んで竜王になり、以後、村人たちは日照りの年には竜王さまに雨ごいのおはな踊りを踊って

雨を降らせてもらったという伝説。
おはな踊りは今も伝えられ、国の無形民俗文化財に指定されています。

その他のまつり

水不足に悩んだ人々が伝えた雨ごいの祭りは、今もさまざまな地方で行われています。水に感謝する心、いつまでも大切にしたいですね。

天の恵みに感謝して 鼓踊り

8月下旬（今年の開催は未定）

守山市古高町ノ大将軍神社

雨ごいに応えて雨を降らせた天に感謝して踊られ、歴史は鎌倉時代にまでさかのぼります。滋賀県選択無形民俗文化財。

雨ごいの踊りを復活 太鼓踊り

10月上旬（5年毎、前は平成7年）

伊吹町ノ上野三之宮神社

江戸時代に長い干ばつで苦しんだ人々がはじめました。一時途絶えていましたが昭和43年に古式ゆたかな踊りが復活。滋賀県選択無形民俗文化財。

秀吉ゆかりの雨ごい行事 豊年太鼓踊り

11月3日

山東町朝日ノ八幡神社

羽柴秀吉が賤ヶ岳の戦いで陣太鼓を打ちならずと大雨が降ったことから、雨ごいの太鼓踊りがはじまったといわれています。国の選択無形民俗文化財。

鉄砲火薬の花火で雨ごい 篠田の火祭り

5月4日

近江八幡市上田町ノ篠田神社

江戸時代に雨ごいのため地元で製造していた鉄砲火薬で花火を奉納したのがはじまり。現在は華やかな仕掛け花火が見ものです。国の選択無形民俗文化財。